道路主要事業位置図

1:2,000,000

0　40　80km

（主）青森浪岡線

十和田バイパス

（主）八戸環状線

琴丘能代道路

秋田大橋

河辺拡幅

刈和野バイパス

岩谷道路

花巻東バイパス

仙人峠道路

あ・ら・伊達な道の駅

小牛田バイパス

新庄古口道路

泉地区

青葉地下道

仙台市五橋

（主）山形山辺線「鮨洗大橋」

小国地区流雪溝

仙台南部道路（Ⅲ期）

仙台東部道路

宮城ITSショーケース

苗振拡幅

長町拡幅

高瀬交差点

相馬バイパス

杉田拡幅

西権現橋

郡山バイパス

鏡石須賀川環境対策

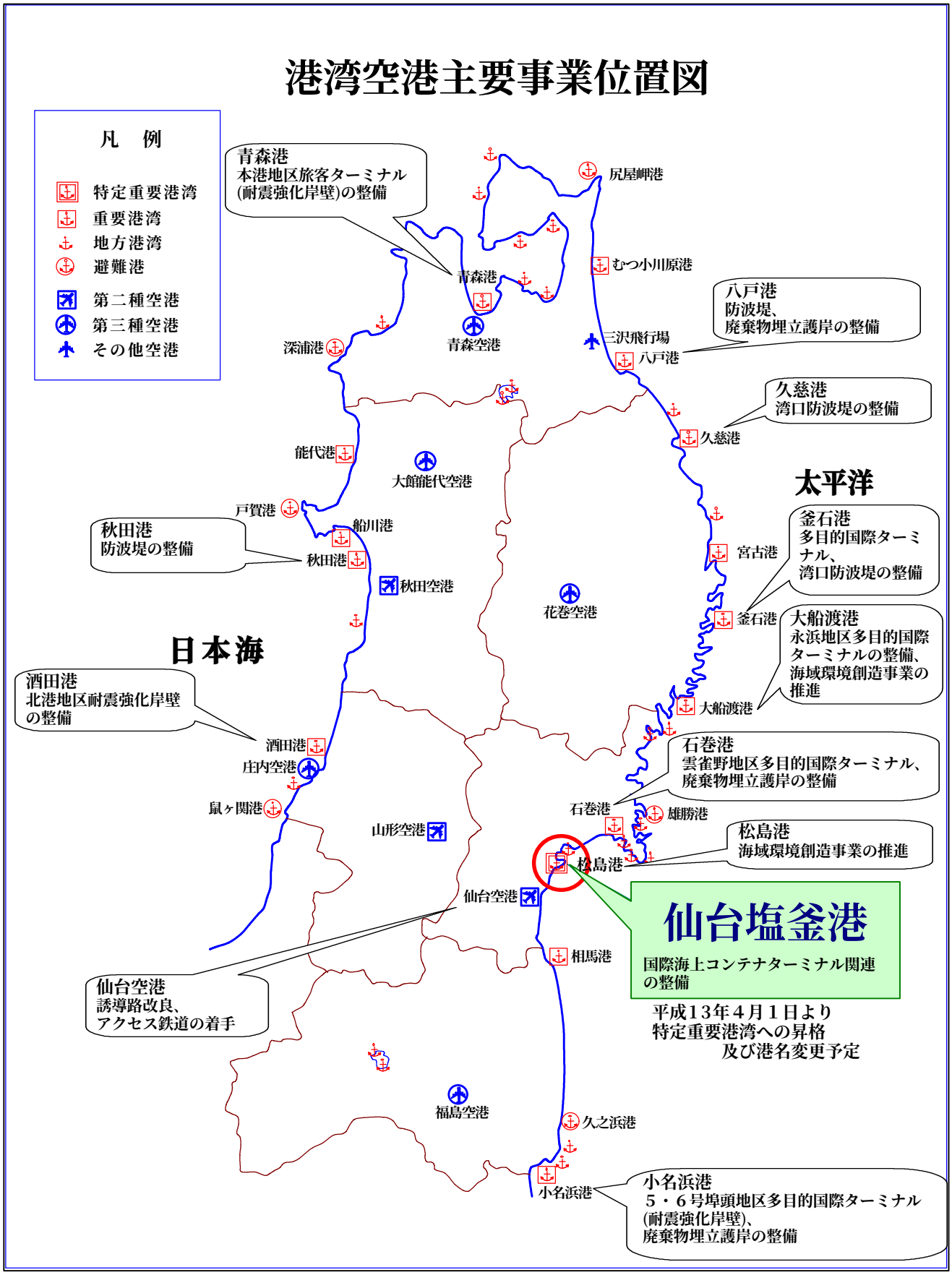
（主）矢吹小野線小高工区

平成12年10月1日現在

凡例	
直轄事業	
補助事業	

国土開発幹線自動車道（A）	
	供用区間
	事業中区間
	整備計画区間
	基本計画区間
	予定路線
国幹道に並行する自専道（A′）	
	供用区間
	事業中区間
一般国道自動車専用道路（B）	
	供用区間
	事業中区間
	基本計画区間
	予定路線

港湾空港主要事業位置図



営繕事業位置図

凡　例

<官>：官庁営繕費
<支>：支出委任

(新)：新営工事
(増)：増築工事
(継)：継続工事
(修)：施設特別修繕
(整)：各省各庁整備
(調)：調査工事

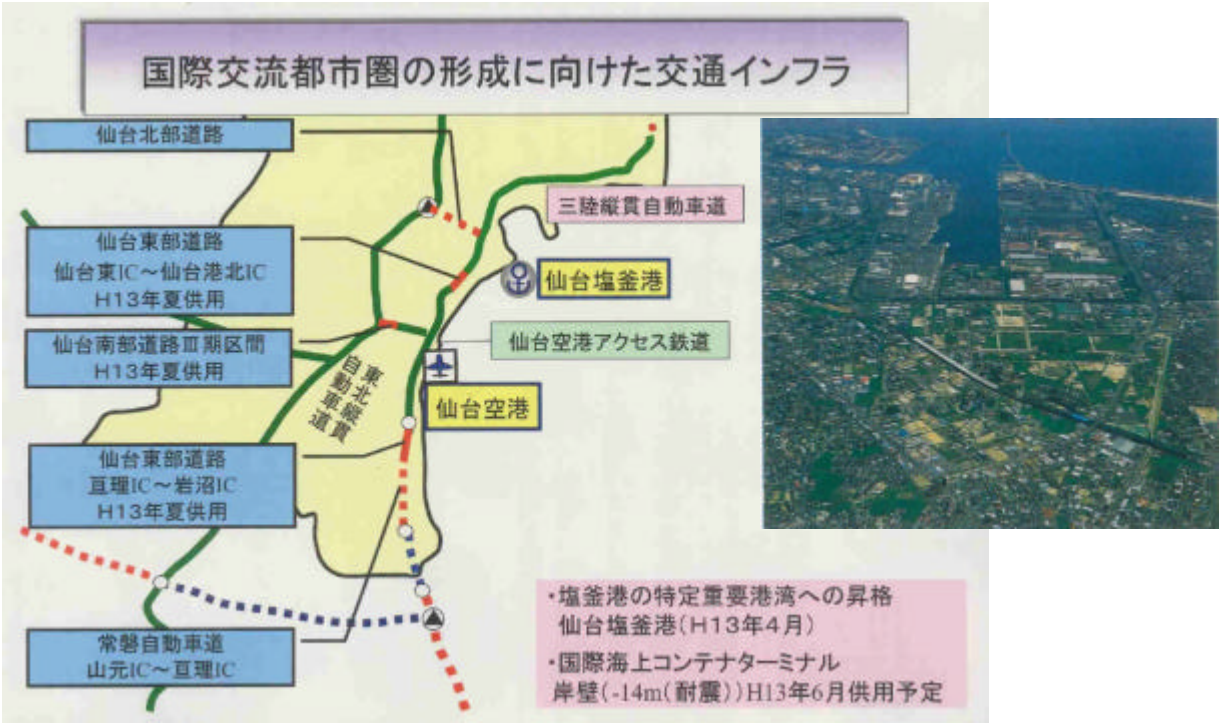
事業区分：道路・港湾・空港　　施策分類：統合のメリット、事業間の連携

事　業　名	国際交流都市圏の形成に向けた交通インフラ
事業概要	東北地方における地域間交流の活発化、国際交流都市圏の形成に向け、仙台塩釜港国際海上コンテナターミナル、仙台空港誘導路、仙台東部道路及び仙台南部道路（Ⅲ期）等の整備を促進します。また、ＪＲ仙台駅から仙台空港までのアクセス鉄道の着工に向けた準備を進めます。 ・平成１３年４月から東北唯一の特定重要港湾に昇格する仙台塩釜港において、国際海上コンテナターミナルを拡充し、東北初の－ 14m 耐震岸壁として平成１３年６月を目途に供用を図ります。 ・400 人規模の搭乗が可能なジェット機の就航に備え、旅客利便性の向上を図るための誘導路改良を図ります。 ・地域間交流の活発化、国際交流都市圏形成に資する仙台都市圏自動車専用道路網（仙台東部道路、仙台南部道路（Ⅲ期）：平成１３年度全線暫定供用。これに伴い、仙台都市圏の自専道の環状道路、約８割が供用）の整備を図ります。

事業効果等

物流の効率化、国際交流都市圏の形成
・道路網整備により都市間の所要時間が大幅に短縮化されます。
（多賀城市～仙台空港間約７０分が約３０分に４０分短縮）
・東北初の－ 14m 岸壁の供用により、東京湾へ陸送されているコンテナ貨物をより多く取り扱うことが可能となり、東北地方の産業競争力を高めます。
・アクセス鉄道の整備によりＪＲ仙台駅と空港間の定時性、速達性が向上します。
（ＪＲ仙台駅～仙台空港約４０分が約１７分に２３分短縮（最大））

国際的なイベントの開催を支援
・平成１３年度開催のみやぎ国体、平成１４年度開催の FIFA ワールドカップの輸送ルートとして、大規模の国際的なイベントの開催を支援します。



事業区分 :道路 ･港湾、直轄事業　　施策分類 :統合のメリット･事業間の連携

事　業　名	**釜石港と国道２８３号仙人峠道路との連携**
事 業 概 要	**仙人峠道路は、仙人峠付近の交通困難区間及び異常気象時の通行規制区間の解消による沿岸部と内陸部の連携強化を図ることを目的とした、岩手県内の釜石市甲子町から気仙郡住田町に至る延長１３．２ｋｍの東北横断自動車道釜石秋田線に並行する一般国道の自動車専用道路です。** **平成１３年度は、釜石港の多目的国際ターミナル等の平成１８年度完成に合わせた道路の供用を図るため、改良工事、仙人トンネル・甲子トンネルの掘削及び洞泉橋下部工工事の推進を図ります。**
事業効果等	

物流の効率化、地域の活性化が図られます

･仙人峠道路等の整備による**交通困難区間及び異常気象時の通行規制区間の解消により**、沿岸部で整備中の釜石港 多目的国際ターミナル等)、内陸部で整備中の花巻空港 滑走路 2500m化)、花巻流通業務団地や江刺フロンティアパーク等の物流 ･産業拠点間の時間短縮が図られることにより、雇用の拡大や定住人口 ･交流人口の増加を促進し、地域の活性化を支援します。



凡　例	
事業中区間	■■■■■■
供用済区間	■■■■■
調査中区間	□□□□□



工事の進む仙人峠道路

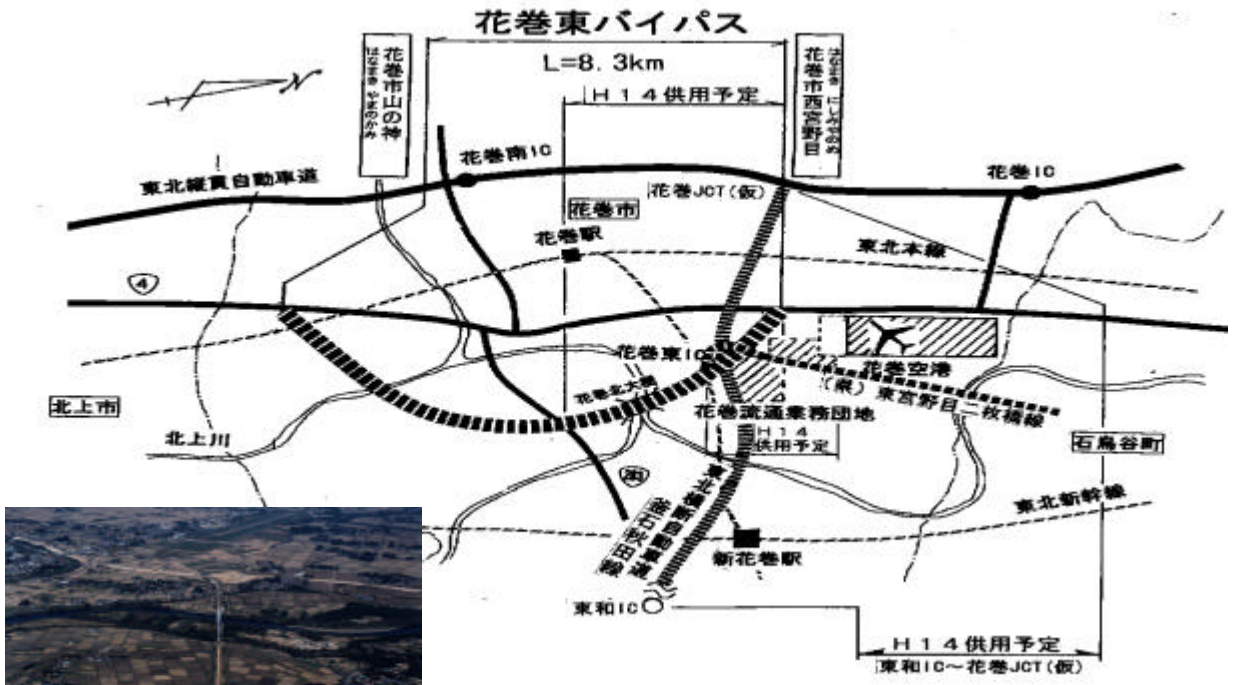
事業区分：道路、直轄・補助連携事業　　施策分類：統合のメリット・事業間の連携

事　業　名	**岩手４号　花巻東（はなまきひがし）バイパス**
事 業 概 要	花巻東（はなまきひがし）バイパスは、一般国道4号の花巻市内の交通混雑の緩和、東北横断自動車道釜石秋田（かまいしあきた）線花巻東IC及び花巻空港、花巻流通業務団地へのアクセス性の向上を目的とした、岩手県花巻市山の神（やまのかみ）から同市西宮野目（にしみやのめ）に至る延長8．3kmの4車線道路です。 **平成１３年度は、平成１４年度の一部供用に向け、用地買収、橋梁工事、改良工事の推進を図ります。**
事業効果等	

高速道路、直轄国道、県道が一体となった、空港・流通業務団地へのアクセス道路の整備により、人流・物流の効率化が図られます

・岩手県花巻市では現在、交通拠点、物流拠点の整備として、花巻空港の滑走路2500m化が平成16年度開港予定で、花巻流通業務団地造成事業が平成14年度の分譲開始予定で事業が進められております。

これに対し、道路ネットワークとしては、拠点の整備に向け、東北横断自動車道（東和（とうわ）～花巻）、国道4号花巻東バイパス・（県）東宮野目二枚橋線の一部区間を平成14年度に供用を図り、人流・物流の効率化を支援します。



供用に向け工事の進む花巻東ﾊﾞｲﾊﾟｽ

凡　例	
事業中区間	
供用済区間	

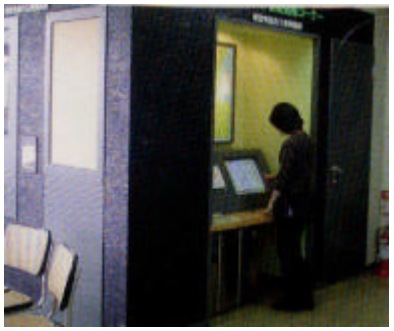
事業区分：道路、直轄・補助連携事業　　施策分類：統合のメリット・事業間の連携

事　業　名	**宮城ＩＴＳショーケース**　地域ITSの推進）
事業概要	宮城ITSショーケースは、ITSの活用による「みやぎ国体」（平成13年）、「ＦＩＦＡワールドカップ」（平成１４年）開催時の円滑な道路交通の確保と東北地方におけるITS推進の牽引的な役割を果たすことを目的として、国・県・市の7機関連携のもと整備を進めているものです。 宮城県内ではITSの活用により、平成9年からインターネットホームページによる道路情報の提供、視覚障害者誘導システムの導入を開始し、平成11年にVICS、仙台市内の駐車場案内システム、平成12年には携帯電話による道路情報提供、一部路線のバス運行情報の提供などを実施しています。 **平成１３年度は、高齢者・障害者を含めた歩行者の安全・円滑な移動支援を目的に、公共交通情報、施設案内、障害者用施設案内等の歩行者向け情報を提供する「ｉ－モビリティセンター」を、一般国道４号「青葉通り地下道」、ＪＲ仙台駅、仙台市中心商店街に設置するなど情報提供の充実を図ります。**
事業効果等	

高齢者・障害者などの歩行者への情報提供により、安全で円滑な歩行者の移動を支援します

・駅、空港などで、道路情報や公共交通情報等が入手可能となり、目的地への交通手段の選択や乗り換え案内・施設案内など地理不案内による不安解消を支援します。

・不案内な土地で施設や障害者用施設の位置情報・移動経路等が入手可能となり、高齢者や車椅子等利用者の移動を支援します。また、目の不自由な方への音声による案内情報の提供等、安全・円滑な歩行者の移動を支援します。



ｉ－モビリティセンターのイメージ



提供情報のイメージ

事業区分：市街地整備・河川、補助事業　　施策分類：統合のメリット・事業間の連携

事　業　名	八戸駅周辺地区（連携事業）
事業概要	平成14年に予定されている東北新幹線盛岡・八戸間の開通を控え、広域交通結節点及びターミナル機能の強化目的のため、新幹線事業と一体となって、八戸駅周辺地区の整備を進めるものです。 当該地区では、中心部を流れる浅水川の抜本的改修をはじめ、新幹線開通に向けて必要となる新幹線駅舎、在来線駅舎の改築とこれらを連絡する自由通路、既設こ線橋の桁高不足解消のためのこ線橋架け替え及び駅前広場等の施設整備を新幹線の事業進捗と連携を図りながら事業を推進します。
事業効果等	

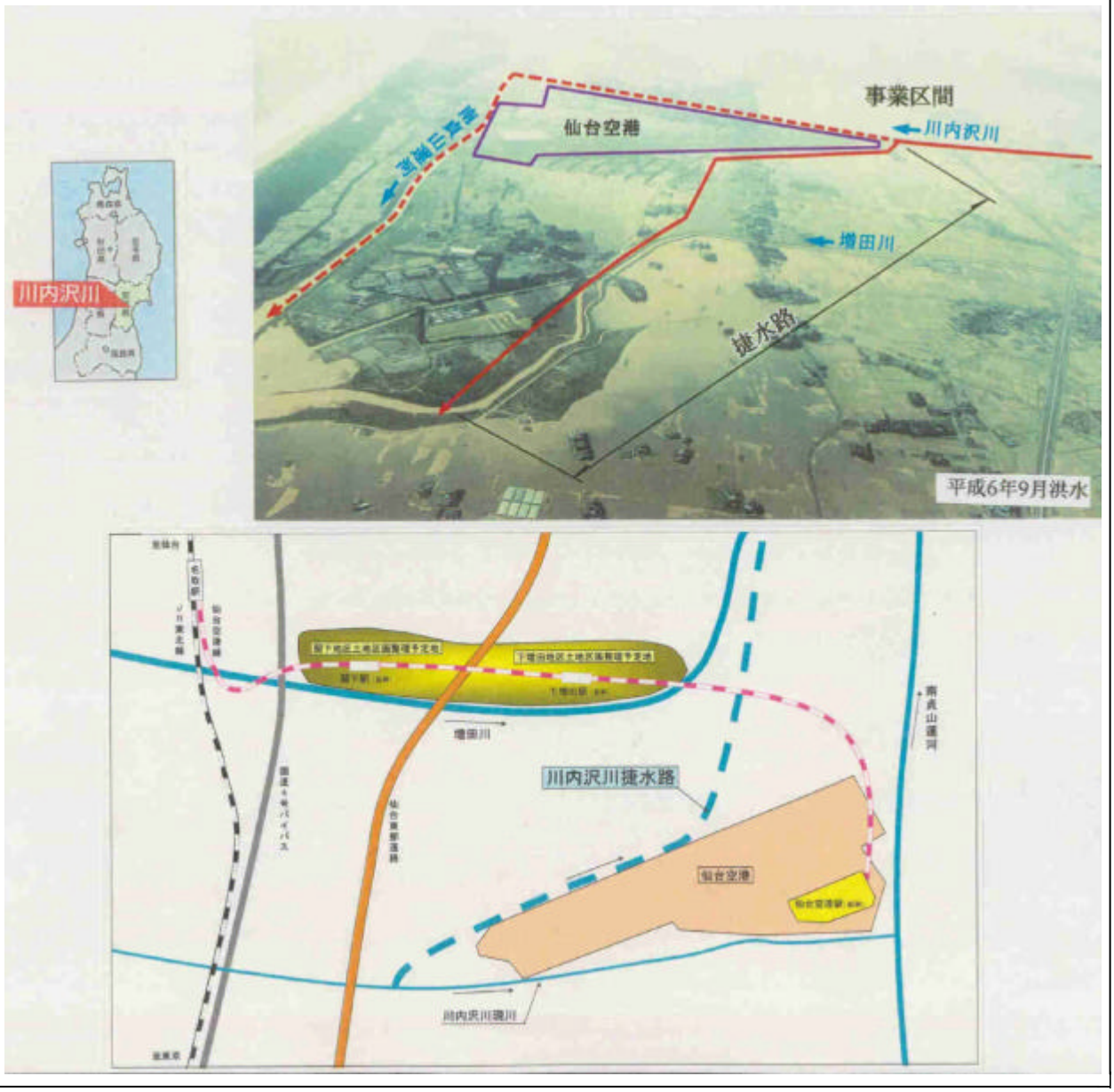
○平成14年新幹線開通に向けて必要となる、土地区画整理事業等による各種施設整備を新幹線整備の進捗と連携を図ることによって、効率的な事業推進と八戸駅及び周辺地区の利便性の向上が図られます。

〔新幹線開業迄に必要となる施設整備〕
- 新幹線新駅舎、在来線駅舎改築に合わせた駅東西自由通路整備
- 新幹線が来ることにより桁高不足となる跨線橋の架け替え
- 広域交通ターミナルとしての機能強化のための駅前広場やアクセス道路等の都市基盤整備
- 浅水川現川の改修及び放水路の建設



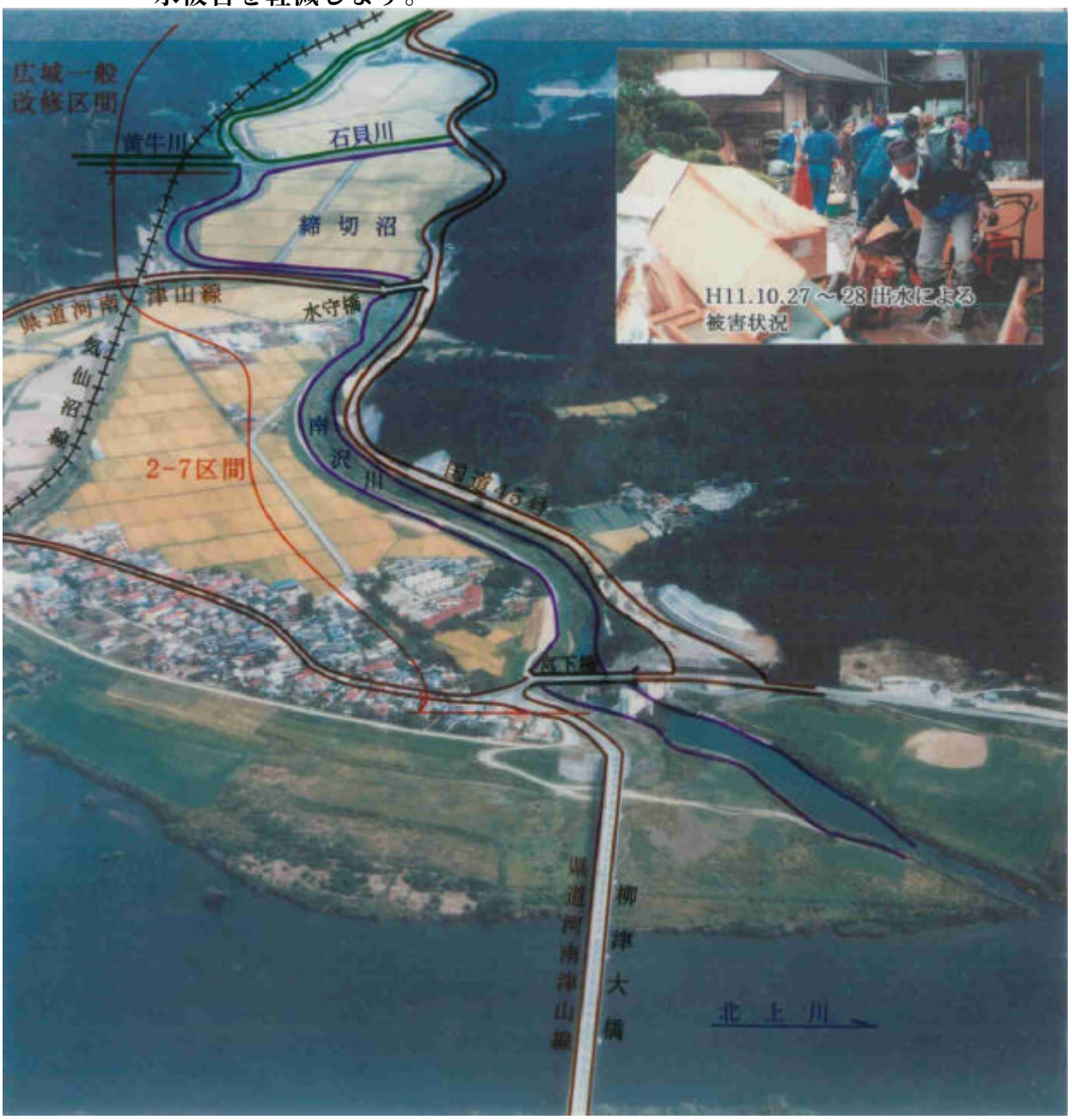
事業区分：河川、補助事業　　施策分類：統合のメリット・事業間の連携

事 業 名	増田川（川内沢川工区）広域基幹河川改修事業（宮城県名取市・岩沼市）
事業概要	川内沢川は、名取川と阿武隈川の大河川に挟まれた平野部を流れる名取川水系の一級河川です。 当河川沿川は仙台国際空港に関連する仙台空港線及び関下地区土地区画整理事業等が予定されている、都市化の進展の著しい地域であります。 一方、平成６年９月の集中豪雨の際には空港が冠水するなど甚大な被害を受けた地域でもあります。 河川改修の促進にあたり、JR、住宅・都市行政とも密な連携を図り、国際社会にマッチした地域づくりの基盤整備を図ります。 ＜事業内容＞ 総事業費 約187億円、工期H7～H25、改修延長 L=11,780m
事業効果	現在、下流捷水路区間の重点整備を図っており、仙台空港を始めとする下流域の洪水被害を解消します。



事業区分：河川、直轄・補助連携事業　　施策分類：統合のメリット・事業間の連携

事 業 名	南沢川改修事業（国直轄事業） 南沢川広域一般河川改修事業（補助事業）（宮城県津山町）【H13年度新規】
事業概要	南沢川下流部の津山町（旧柳津町）は、北上川の新川開削に伴い現市街地に移転したが、旧河道の低平地で内水を含めた治水安全度が低い他、その上流も度々自己流氾濫を繰り返している。平成11年には浸水家屋49戸（内床上13戸）の被害が発生する等、一層の改修促進が要望されている。抜本的改修は膨大な事業費を要し県のみによる実施が困難のため、北上川に接する下流部を直轄事業化し、国・県が連携して改修を行う。
事業効果	国・県が連携して内水対策を含めた一連区間の改修を行い、頻発する浸水被害を軽減します。



事業区分：道路、直轄事業　　施策分類：統合のメリット・事業間の連携

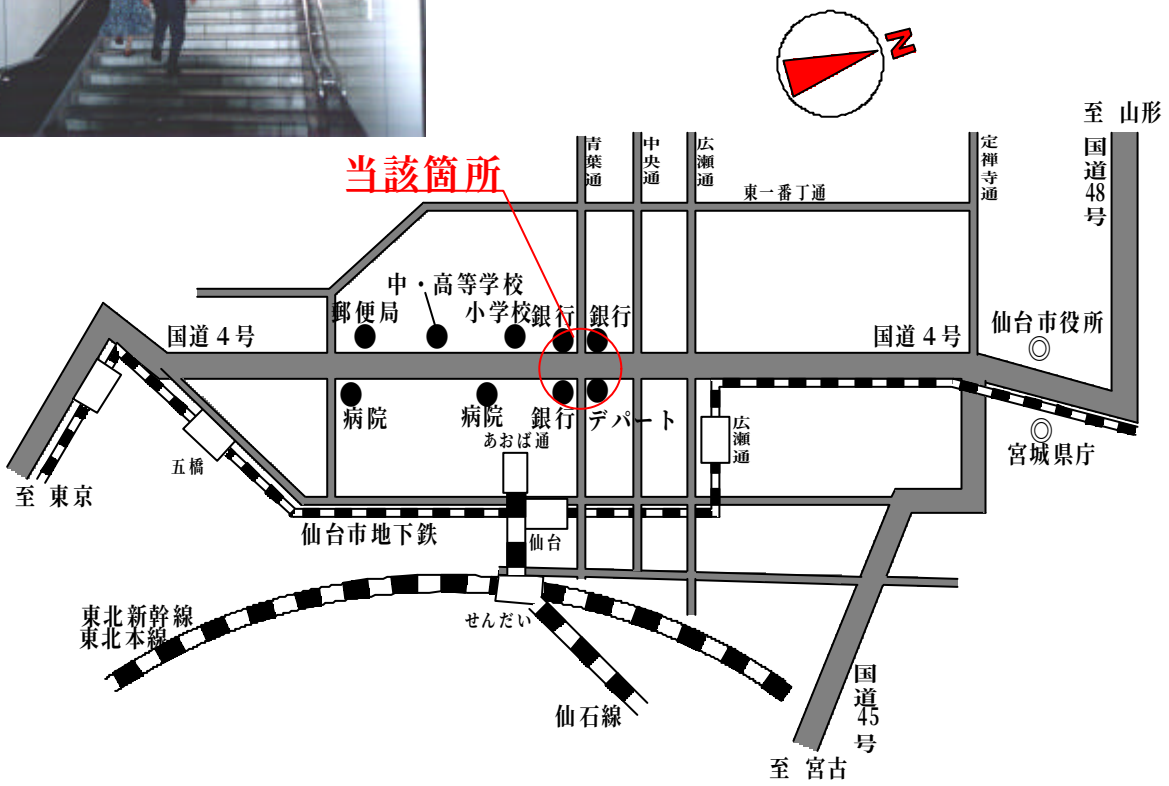
事　業　名	宮城４号　青葉通（あおばどおり）地下道
事業概要	鉄道駅・バス停等の公共交通機関周辺において、立体横断施設の利便性向上とバリアフリー化を図るため、一般国道４号、青葉通地下道に昇降装置等の整備を図ります。 平成１３年度は、事業に着手し、昇降装置等の内容検討を行います。
事業効果	

【利用しやすい歩行空間への改善を図ります】

・当該箇所の地下横断歩道(Ｈ３完成)は、仙台市の中心市街地で、沿道周辺にはJR仙台駅、仙台市地下鉄駅、バス停、病院等の公共施設及び商店街が密集し、歩行者・自転車等の通行が多い箇所です。
このため、立体横断施設の利便性向上とバリアフリー化を図るため、昇降装置を設置し、身障者や高齢者など誰もが利用しやすい歩行空間の形成を図ります。

▼現況の利用状況





事業区分：道路、直轄事業　　施策分類：統合のメリット・事業間の連携

事　業　名	公共事業におけるゼロエミッションの推進（国道4号郡山バイパス等）
事業概要	郡山バイパスは、地域高規格道路の郡山西環状道路の一部として、一般国道4号の郡山市街地部の交通混雑の緩和、交通安全の確保を目的とした、須賀川市仁井田字大谷地から安達郡本宮町大字荒井に至る延長17．2kmの道路です。 昭和49年度に事業着手及び用地着手し、昭和50年度に工事着手、平成7年度にバイパス区間を暫定2車線で全線供用し、現在、平成14年度の全線4車線化供用に向け、4車化工事、交差点立体化工事を促進中です。 **平成１３年度は、郡山バイパスの４車線化工事等により発生する掘削土約２万m^3 を建設副産物のリサイクルによるゼロエミッションの推進を目的に、福島空港に再利用いたします。**
事業効果等	

ゼロエミッションの推進が図られます

・建設発生土の有効活用により、循環型社会の構築を支援し、ゼロエミッションの推進を図ります。

建設コストの縮減が図られます

・建設発生土の有効活用が図られることにより、公共事業全体としてのコスト縮減が図られます。

